

◆ 「第34回こうべ福祉・健康フェア」でバリアフリー教室を開催しました

神戸運輸監理部交通みらい室では、兵庫県内の小中学生を対象にバリアフリー教室を開催しており、自ら高齢者や障害者の疑似体験や介助体験をすることで、バリアフリーの必要性を理解するとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者や障害者に対して自然に快く「お手伝いしましょうか」と声をかけてサポートのできる「心のバリアフリー」を推進しています。

今回は、令和5年10月1日（日）に、神戸市北区の「しあわせの村」において実施された「第34回こうべ福祉・健康フェア」にブースを出展し、「バリアフリー教室」を開催しました。

バリアフリー教室では、「車いす自走・介助体験」、「視覚障害者疑似体験」を行いました。ブースには、子ども連れを中心に約160名もの方々がお越しになりました。



【監理部出展のブース】



【車いす体験の様子】

車いす自走介助体験では、監理部の職員が車いすの基本的な操作方法の説明をした後、参加者は実際に車いすに乗って、ブースの周辺を移動しました。

車いすに乗ったことがない参加者が多かったことから、今回の体験を通して、車いすの安全な使い方や困っている利用者への介助方法等について理解を深めました。

視覚障害者疑似体験では、白杖の使い方、点字ブロックの種類や意味を監理部の職員が説明し、参加者には目が見えない状態で、白杖を頼りに歩行しました。

参加者にとっては、白杖の使用方法を知るきっかけになったり、点字ブロックの有無による歩行のしやすさの違いを体感したりと、視覚障害についての理解を深める良い機会になりました。



【視覚障害者体験の様子】



本教室で、障害者・高齢者の気持ちを理解するとともに適切な介助方法を学ぶことで、日頃からお手伝いしようという気持ちを持つことができました。

交通みらい室では、今後も様々な取り組みにより、「心のバリアフリー」の推進を図っていきます。

(企画推進本部 交通みらい室)